

令和2年度学校自己評価システムシート (県立岩槻商業高等学校)

目指す学校像	確かな専門性と良識を持った職業人を地域とともに育む
--------	---------------------------

重点目標	1 確かな学力を定着させ、専門性を高め、経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。 2 規範意識の醸成を図り、豊かな心と健やかな体を育成する。 3 保護者や地域と連携・協働し、地域の学校として信頼される教育活動を実践する。 4 生徒の多様な進路希望の実現を目指し、キャリア教育の視点に立った進路指導を実践する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)				実 施 日	令 和	年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等		
1	[現状]生徒の学校満足度をより高める取組の充実化を図っている。資格取得率は増加傾向にある。 [課題]生徒の学習意欲、授業の理解度を高めるためにも、教職員の指導力やICT活用力向上を目的とした研修の機会が必要である。	生徒の基礎学力を定着させ、学習意欲を向上させる。	①「学び直し教材」の活用 ②授業公開等の活性化とICT機器等の積極的活用	①生徒の学習意欲が高まり、成績不振者を減少できたか。 ②学校生活アンケート「授業理解度」を高めることができたか。						
		生徒の資格取得を奨励し、目標とする検定に合格させる。	①教科・科目の目的や内容に即した資格取得指導 ②計画的な補習、外部講師によるスキルアップ講座の実施	①計画的な検定試験等の受験指導ができたか。 ②奨励級または高度資格・検定試験の合格状況はどうか。						
2	[現状]教職員の共通理解のもと、「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を継続し、規範意識の醸成を図っている。朝読書・朝学習等、生徒の豊かな心を育む取組も行っている。 [課題]基本的生活習慣の定着と、時と場所と場合(TPO)に応じた対応、モラルやマナーを順守できる人材育成が求められる。また、生徒の美化意識を高めるとともに、衛生、安全対策の推進を積極的に指導する必要がある。	規律ある生活態度や人間力を育成する。	①TPOに応じた身嗜み指導等 ②チャイム着席や事前準備の徹底、挨拶の励行 ③部活動実績や資格取得等の成果を奨励する指導	①生徒の身嗜みや立ち振る舞いが、TPOに応じたものになっているか。 ②学校生活アンケート「チャイム着席状況」が高まり、遅刻者数減少、皆勤者数増加が実現できたか。 ③部活動実績等の状況はどうか。						
		安全・安心な学校生活を実現する。	①教職員及びPTAによる校外交通安全巡回指導 ②学校いじめ防止基本方針に基づく組織的取組 ③防災・安全対策指導の充実とAED操作講習会の実施 ④日々の清掃、定期的なクリーンキャンペーンによる美化活動	①交通事故(被害・加害)の状況はどうか。 ②いじめ問題に対して、迅速かつ組織的な対応ができたか。 ③生徒の防災・安全意識を高めることができたか。AED操作講習会を計画的に実施できたか。 ④日々の清掃やクリーンキャンペーンによって生徒の美化意識を高めることができたか。						
3	[現状]本校の教育活動の様子を継続的に情報発信したが、本校ならびに商業教育の魅力が浸透しない。 [課題]本校の教育活動を発展させるためにも、岩商学校づくり協議会や地域の方々との交流機会を通じて、外部の方々から積極的に意見を聴く。そして、生徒たちの発表の場、活躍の機会を多くつくることで、積極的な情報発信に努める必要がある。	全教職員、学校全体による広報活動を実践する。	①参加しやすい学校説明会等の工夫・改善 ②学校ホームページや広報誌による分かりやすい情報発信	①学校説明会等への中学生・保護者等の参加状況はどうか。 ②ホームページアクセスの増加が実現できたか。計画的な広報誌の発行ができたか。 ①②本校に対する志願倍率上昇が実現できたか。						
		地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する。	①「未来の職業人材育成事業」等による外部教育力の活用 ②近隣小学校との交流事業実施、地域イベントや祭りへの積極的参加	①地元企業や伝統工芸士等の外部教育力の活用度を高めることができたか。 ②学校及び生徒たちの取組・活動が、地域活性化等に貢献できたか。						
4	[現状]キャリア段階に応じた指導を行うとともに、インターンシップを通して社会的に自立する力、望ましい勤労観・職業観を育てている。 [課題]多様な進路希望に応じるためにも、生徒の活動や学習履歴を適切に記録・管理する必要がある。また、社会人・職業人としての指導の充実が求められている。	生徒の進路希望の実現と進路意識を向上させる。	①適切な進路情報の提供、個に応じたきめ細かい進路指導 ②外部講師や就職支援アドバイザーの教育力の効果的活用 ③総合的な探究の時間、インターンシップ等の計画的指導 ④進路実現に向け、生徒の表現力を向上させる教材の活用	①進路アンケート(3年生の)「満足度」を高めることができたか。 ②3年生の進路決定状況はどうか。 ③インターンシップの成果と生徒の満足度を高めることができたか。 ④生徒の(作文や小論文、面接等の)学習成果による進路実現の状況はどうか。						